令和３年度　事業報告

Ⅰ　事業概況

令和3年版高齢社会白書によりますと、我が国の高齢化率は前年の28.4%から0.4ポイント上昇し28.8%となり、世界で最も高い水準となっています。その一方、出生数の減少により、少子化に拍車がかかり、生産年齢人口にまで影響を及ぼしている状況にあります。

このような中、働く意欲がある高年齢者がその能力を十分に発揮できるような環境の整備を目的として、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正され、令和3年4月から、70歳までの就業機会確保が企業の努力義務とされました。

シルバー人材センターは、人手不足分野等での就業機会の開拓・マッチング機能や地域ごとの実情を踏まえた取り組みの強化などが期待されているところであります。当センターでは、進むべき方向と担うべき役割を明らかにした「第4次基本計画」に基づき、令和３年度においてもシルバー事業に取り組んで参りました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により全般的に影響を受けたことにより、令和３年度の受託事業（請負・委任）の契約金額につきましては、6億1,900万円余となり、前年度に比べ2,000万円余、3.1%の減となったところであり、会員数につきましても、1,467人、前年度に比べ7人、0.5%の減となったところであります。

令和４年度からは事務局体制強化と業務の効率化を図ることを目的に、宇都宮事務局と北部事業所の一元化を行い、今後とも、「第４次基本計画」に計上した施策事業について、一元化した新たな体制の下、環境の変化に対応した、より実施効果の高いものへの転換や重点化などを図りながら、計画目標の達成に向けた取組みを一層推進し、地域に根差した公益法人としての役割を果たして参ります。

Ⅱ　シルバー人材センター事業

１　就業機会提供事業

(1)　会員の状況

年度当初の会員数は1,474人でした。僅かづつではありますが増加し、1月には1,524人にまで回復しましたが、その後は減少、年度当初より7人減少し1,467人となりました。

入会理由は、生きがい・社会参加が84人で全体の 44.4%を占め、次いで経済的理由が43人で全体の22.8%となりました。

退会理由は、病気が54人で全体の27.6%を占め、加齢が39人で全体の19.9%となりました。

年齢別会員構成は、前年度と同じく70歳～74歳が591人で全体の40.3%と最大であり、次いで75歳～79歳が393人で全体の26.8%となりました。

［会員登録の状況］

区分	令和２年度（人）			令和３年度（人）			対比増減（人）			増減率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
入　会	106	64	170	122	67	189	16	3	19	15.1	4.7	11.2
退　会	191	126	317	144	52	196	△ 47	△ 74	△ 121	△ 24.6	△ 58.7	△ 38.2
会員数	1,060	414	1,474	1,038	429	1,467	△ 22	15	△ 7	△ 2.1	3.6	△ 0.5

［入会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
生きがい・社会参加	84 人	44.4 %
経済的理由	43 人	22.8 %
時間的余裕	27 人	14.3 %
健康維持・増進	26 人	13.7 %
仲間作り	7 人	3.7 %
その他	2 人	1.1 %
計	189 人	

［退会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
病気	54 人	27.6 %
加齢	39 人	19.9 %
希望する仕事なし	26 人	13.3 %
就業機会なし	20 人	10.2 %
その他で就職	19 人	9.7 %
家庭の事情（介護等）	10 人	5.1 %
死亡	9 人	4.6 %
未回答（不明）	8 人	4.1 %
その他	7 人	3.5 %
転居	2 人	1.0 %
センターに対する不満	2 人	1.0 %
計	196 人	

［年齢別会員構成］

区　分	60 未満	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 以上	計（人）
男（人）	0	19	170	414	284	151	1,038
女（人）	0	13	71	177	109	59	429
計	0	32	241	591	393	210	1,467
比　率（%）	0.0	2.2	16.4	40.3	26.8	14.3	

(2)　請負・委任による事業実績

①　受注件数

受注した仕事の件数は、6,773件でした。内訳は、公共事業146件（2.2%）、民間事業(一般家庭含む)6,614件（97.6%）、独自事業13件（0.2%）でした。

②　就業人員

年間就業延人員は、99,751人日でした。年間就業実人員は、977人となり、就業率は66.6%でした。

③　事業収入

受託事業収入は、619,053,055円となり、前年度との比較では20,085,980円（3.1%）減の実績となりました。

仕事の分類別契約金額の主なものとしては、除草や清掃など運搬・清掃・包装等の職業が最も多く、287,216,637円(46.4%)、次いで駐輪場・駐車場管理などサービスの職業の242,724,284円（39.2%）、３番目が植木せん定などの農林漁業の職業の65,806,510円（10.6%）で、以上の３つの職業で全体の96.2%を占めています。

［事業実績］

仕事の分類別		受注件数（件）	延人員（人日）	契約金額（円） 配分金	材料費	事務費	契約金額
専門的・技術的職業		2	10	27,550	0	2,755	30,305
事務的職業		391	3,457	12,089,698	0	1,090,980	13,180,678
販売の職業		1	182	1,130,276	0	113,005	1,243,281
サービスの職業		948	34,216	182,421,771	42,103,368	18,199,145	242,724,284
農林漁業の職業		1,709	5,350	50,849,393	9,918,562	5,038,555	65,806,510
生産工程の職業		268	1,752	6,650,203	1,387,823	644,500	8,682,526
建設・採掘の職業		19	25	136,300	18,904	13,630	168,834
運搬・清掃・包装等の職業		3,435	54,759	249,936,636	12,409,371	24,870,630	287,216,637
合　計		6,773	99,751	503,241,827	65,838,028	49,973,200	619,053,055
公共事業		146	34,270	212,421,702	47,325,069	21,130,526	280,877,297
民間	一般企業等	1,161	45,174	183,662,272	3,115,631	18,225,630	205,003,533
民間	個人家庭	5,453	19,846	106,727,363	15,389,008	10,572,891	132,689,262
独自事業		13	461	430,490	8,320	44,153	482,963
合　計		6,773	99,751	503,241,827	65,838,028	49,973,200	619,053,055

(3)　労働者派遣事業

労働者派遣事業は、60歳以上の派遣労働を希望する会員に対し、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る派遣労働を提供する事業です。契約金額の前年度との比較では12,349,702円（33.5%）増の実績となりました。

区　分	令和2年度	令和3年度	増　減
派遣登録会員数（人）	153	187	34
受注件数（件）	71	69	△ 2
労働実人員（人）	74	109	35
就業延人員（人日）	7,079	9,369	2,290
契約金額（円）	36,850,343	49,200,045	12,349,702
協力費額（円）	2,579,499	4,003,035	1,423,536

(4)　職業紹介事業

職業紹介事業は「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る雇用就業を提供する事業です。

手数料の前年度との比較では178,670円（73.1%）減の実績となりました。

区　分	令和2年度	令和3年度	増　減
求人事業所（件）	10	7	△ 3
求人数（人）	17	8	△ 9
新規求職申込件数（件）	23	9	△ 14
就職人数（人）	4	5	1
賃金額（円）	2,244,440	597,382	△ 1,647,058
手数料（円）	244,376	65,706	△ 178,670

2　就業機会確保事業

(1)　普及啓発事業

①　会員による「口コミ運動」を実施しました。

②　会報「シルバーだより」を発行し（令和3年10月1日）、全会員に配付しました。

③　「広報うつのみや」において、会員募集記事及び受注可能な仕事例を掲載し、センター事業のPRに努めました（4月号及び10月号）。

④　宇都宮市主催の「介護予防・日常生活支援総合事業従事者研修」の最終日、修了者に対し、センター事業(主に総合事業)のPRを行いました(年間2回)。

⑤　宇都宮市役所1階ロビーにてシルバーパネル展を開催し、シルバー人材センター事業のPRを実施しました（10/18～22）。

⑥　公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会主催「60歳からのいきいきライフセミナー」に参加し、会員による事例発表及びパネル展示を行い、入会PRに努めました。

⑦　公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会主催「高齢者活躍人材育成事業」の講習会閉講式に参加し入会促進に努めました(年間3回)。

⑧　「高齢者活躍人材育成事業」の就業体験で、一般の方に公園の清掃作業や施設管理、独自事業の石けん作りの体験を実施し、入会促進を図りました。

⑨　みやシニア活動センターなど高齢者の健康と生きがい作りを推進する団体と連携を強化し、センター事業の周知を図りました。

(2)　安全・適正就業推進事業

①　安全就業推進事業

会員の就業時における事故防止策を推進するため、安全委員会において安全就業推進計画を策定し、【就業における事故ゼロ】の目標達成に向けて計画を推進しました。

また、熱中症予防やスズメバチに注意、交通事故防止などの注意啓発文書を6月～12月の就業案内と共に配付し、就業中や途上の安全についての意識を高めるよう努めました。

そして、賠償事故が多い草刈作業中の事故を防ぐため、草刈作業安全マニュアルを作成しました。

ア　安全パトロール

7月及び11月を安全就業の重点月間とし、重点パトロールを実施(北部事業所は8月に実施)したほか、それ以外の月は通常パトロールとして月1回実施しました。

しかし、新型コロナウイルスの緊急事態宣言やまん延防止等特別措置に伴い、8月、9月１月～3月のパトロールは中止しました。

区　　分	宇都宮事務局				北部事業所			
	実施日	日　数	巡回箇所	延日数	実施日	日　数	巡回箇所	延日数
重点パトロール	7/26、28、29 11/25、29、30	6日間	15箇所	12人日	8/2、5、6 11/16、17、18、19	7日間	11箇所	12人日
通常パトロール	4/30、5/19、6/22、10/21、12/20、	5日間	14箇所	9人日	4/1,8、5/10,11,17,18,24、6/1,10、10/22、12/19、	11日間	9箇所	6人日

イ　安全ニュースの発行

四半期毎（6月,9月,12月,3月）に事故発生状況や、ヒヤリハット事例などを紹介しました。

ウ　安全標語の募集

12月から募集を開始し、30人の会員の方々から93作品の応募がありました。

3月の安全委員会において審査を行い、令和4年度就業案内や安全ニュース等で掲載する標語を選定しました。

◇　最優秀作品　「気を抜くな！油断と過信が　事故を生む」

エ　消防訓練の実施

管理業務に就業する会員を中心に消防訓練を実施し、会員の安全意識の高揚に努めました。

○　河内農業構造改善センター

1回目：9月17日(金)緊急事態宣言措置期間のため、火災発生時のフローを独自に作成し就業会員へ配布しました。

2回目：12月17日(金)　11名参加

○　市営自転車駐車場

中央消防署から資料を取り寄せ、各駐輪場に配付することにより周知を行いました。

オ　会員事故報告

「目標」である「事故ゼロ」にむけ、会員への周知及び安全意識の啓発に努めました。

前年度と比較して傷害事故は減少しましたが、賠償事故が増加しました。

区　分		令和２年度 件　数	令和３年度 件　数	増　減
事故発生件数	傷害	8 件	5 件	△3 件
	賠償	12 件	15 件	3 件
保険金支払件数	傷害	10 件	4 件	△6 件
	賠償	8 件	13 件	5 件

・事故発生件数は、その年度に発生した保険金支払い対象外の事故も含みます。

・保険金支払件数は、前年度の発生事故を含み、今年度未払の件数は除きます。

② 適正就業推進事業

会員及び発注者にシルバー人材センターの適正就業ガイドライン等でセンター事業のシステムを明示し、適正就業の理解と協力を求めました。

就業規約に関する要綱を定め、管理部門に就業する会員の長期就業の是正を行い、公平な就業機会の提供に努めました。

請負・委任に適しない事業については、依頼主に労働者派遣事業や職業紹介事業への切り替えを依頼しました。

(3) 就業開拓事業

① 新入会員説明会は、緊急事態宣言並びにまん延防止等特別措置期間中は開催を中止、それ以外の期間は密を避けるなど感染防止を徹底しながら、予約制として開催しました。

［令和３年度事業所別入会者数］

宇都宮事務局	北部事業所	計
159 人	30 人	189 人

※女性向けの入会説明会(令和4年2月22日)を企画しましたが、まん延防止等特別措置期間のため、中止いたしました。

② 職群班会員等による就業先近隣家庭へパンフレットを配布し、受注拡大の促進に努めました。

③ 職群班（植木・除草・ホームサポート等）を中心に事務局・事業所間の連携を深め、円滑な事業運営ができるよう体制づくりに努めました。

(4) 研修・講習事業

会員の資質向上と就業機会の確保を図るため、以下の研修・講習会を開催しました。

植木せん定講習会は日程を一日増やし、スムーズに仕事を進められるように、トラブルに対応するための内容を追加しました。

研修・講習会名	講習日程	講習日数	参加延人員
クリーニング講習会	12月2日	1 日間	10 人
植木せん定講習会	1月11日～14日	4 日間	207 人
除草班員研修会(本部)	2月25日、3月23日	2 日間	48 人

※ 開催を予定していた接遇講習会や（公財）栃木県シルバー人材センター連合会の支援による、襖講習会、刈払機取扱作業者安全衛生教育講習会については、まん延防止特別措置期間のため開催を中止した。

(5)　独自事業

会員の就業機会を確保するため、会員の創意と工夫により以下の独自事業を実施しました。

今年度は食堂はなむすびの閉店や門松製作の中止などにより、大きな実績減となりました。

事業内容	令和2年度		令和3年度		増　減	
	延人員（人日）	金　額（円）	延人員（人日）	金　額（円）	延人員（人日）	金　額（円）
編みぐるみ創作	640	498,616	427	378,463	△ 213	△ 120,153
刃物砥ぎ	4	4,510	2	4,400	△ 2	△ 110
石けん製作	47	29,900	32	100,100	△ 15	70,200
門松製作	159	1,114,000	0	0	△ 159	△ 1,114,000
食堂運営	650	1,943,030	0	0	△ 650	△ 1,943,030
計	1,500	3,590,056	461	482,963	△ 1,039	△ 3,107,093

(6)　相談・調査事業

宇都宮事務局においては4月から2月までは月2回、3月は1回、また北部事業所においては、年間を通して毎月1回役員による入会員説明会後の面談を行い、新入会員の就業相談を行うとともに、本部においては原則毎週水曜日に、北部では第2・第4木曜日に世話役及び職員が中心になって就業相談を行い、就業機会の提供に努めました。

しかしながら、コロナ禍の影響で、本部は14回、北部は12回の相談会が中止になりました。

区　分	年間開催回数	参加延人数
本　　部	35	273
北　　部	25	68
合　計	60	341

(7)　地域貢献事業

女性部会のメンバーによる「ぞうきん製作」を行い宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しました。

活動日	ボランティア内容	参加人数
毎月第4金曜日	ぞうきん135枚製作 寄贈日：令和4年3月10日	平均4名の参加

※　北部事業所にて毎年実施していた奉仕作業については、コロナ禍により中止しました。

(8)　高齢者活用・現役世代サポート事業

地域における人手不足分野等に係る取組みを行い、就業希望者とのマッチングにより就業拡大を推進しました。

(9)　介護予防・日常生活支援総合事業

平成30年９月にサービスの提供を開始し、実績を伸ばしてきたところですが、今年度の事業実績は、昨年度よりも減少しました。

［事業実績］

区　分		令和2年度	令和3年度	増　減
受託件数（件）		62	51	△ 11
延人員（人日）		286	259	△ 27
契約金額（円）	配分金	386,288	352,323	△ 33,965
	事務費	217,261	182,815	△ 34,446
	計	603,549	535,138	△ 68,411

3　法人運営

(1)　定時総会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第42回定時総会	令和3年 6月11日	報告　1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度収支補正予算について 3 令和3年度事業計画について 4 令和3年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 議案　1 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター定款の一部改正について 2 令和2年度決算について

(2)　理事会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第1回理事会	令和3年 5月21日	報告　1 専決処分の報告について（令和3年4月） 2 令和2年度事業実績及び業務状況報告について(令和3年2月～3月) 3 事務局機能強化に伴う組織体制の見直しに係る地区説明会の結果について 議案　1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度決算報告について 3 定款の一部改正について 4 地域班世話役の選任について 5 第42回定時総会の開催について 6 表彰候補者について

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第2回理事会	令和3年 8月18日	報告　1 専決処分の報告について(令和3年5月～7月) 2 令和3年度事業実績及び業務状況・職務執行状況報告(理事長・副理事長・専務理事)について (①事業実績等報告　：令和3年4月～7月) (②職務執行状況報告：令和3年3月～7月) 3 長期就業是正説明会の結果について 4 設立40周年記念事業の開催について 議案　1 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター就業規約に関する要綱の制定について 2 設立40周年記念事業表彰者について 3 地域班世話役の選任について
第3回理事会	令和3年 12月10日	報告　1 専決処分の報告について(令和3年8月～11月) 2 令和3年度事業実績及び業務状況報告について(令和3年8月～10月) 3 設立40周年記念事業の結果について 4 令和3年度給与等の改定について 議案　1 令和3年度収支予算の補正（第1号）について 2 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について 3 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局組織規程の全部改正について 4 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務専決規程の全部改正について 5 地域班世話役の選任について その他　1 事務局一元化に伴う組織体制の再編について 2 令和2年度における第4次基本計画の進捗状況について 3 はなむすびの状況及び今後の取組について
第4回理事会	令和4年 3月14日	報告　1 専決処分の報告について （令和3年12月～令和4年2月） 2 令和3年度事業実績及び業務状況・職務執行状況報告(理事長・副理事長・専務理事)について (① 事業実績等報告:令和3年11月～令和4年1月) (② 職務執行状況報告:令和3年8月～令和4年2月) 議案　1 不能欠損処理について 2 令和3年度収支予算の補正（第2号）について 3 役員賠償責任保険の加入について 4 令和4年度事業計画について

会議の名称	開催年月日	議　事　等
		5 令和4年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 6 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター就業規則の一部改正について 7 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター嘱託員就業規程の一部改正について 8 地域班世話役の選任について 9 重要な職員の任免について 10 役員選考委員会の設置について その他 1 令和4年度職員体制について 2 個人情報の保護について（役員研修）

(3)　記念事業の開催

令和3年10月19日(火)に予定していました、「設立40周年記念事業」は新型コロナウイルス感染症拡大のため、式典は中止し、次の事業を実施しました。

① 表彰

「公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター表彰規程」及び「設立40周年記念事業選考基準」に基づき次の方々を表彰しました。なお、表彰式は中止し、個別に表彰状と記念品を贈呈しました。

ア 正会員表彰

会員歴20年以上で、令和2年度においてシルバー人材センター事業で実績がある会員6名と、10年以上地域班、世話役として活動事績がある会員11名

イ 一般表彰

過去5年間において年間500万円以上の発注実績がある4者

② 記念リーフレット

設立40周年記念リーフレットを作成し、全会員及び関係各機関に配付

(4)　監査の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
監　　査	令和3年 5月12日	令和２年度事業報告及び決算について

Ⅲ　事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。